登別中だより

３年生の最後の熊舞披露

【教育目標】すすんで学び 正しく判断する(知)　思いやりを持ち きびしさに耐える(徳)　命を大切にし 心身を鍛える(体)　　令和３年１１月２５日発行　No. ８

「自己肯定感について考える」

校長　寺　岡　　弘

全国学力・学習状況調査の生徒質問紙の中に「自分には良いところがあると思いますか」という項目があります。本校の３年生の「当てはまる・どちらかといえば当てはまる」と答えた割合は９０．３％で、全国と比較しても１５％以上高くなっています。この設問は「自己肯定感」について聞いています。自己肯定感が高く、自分自身のいいところも悪いところも丸ごと受け入れ、好きになれることは生きやすさにつながる事だと思います。家族や学校、地域の中で自分のよさが認められていることがこの結果につながっているのかなと思います。比較的この自己肯定感に関わる項目は、諸外国に比べると日本はその中でも最下位であることが言われています。以前この調査があった時に日本人の若者の自己肯定感の低さが話題になりました。

この「自己肯定感」ですが、この言葉が最近書店でも目につきます。最近読んだ「自己肯定感の教科書」という本には、「病に対して自己回復力があるように、心の揺れに対しても自ら回復する力を持っています。そのカギとなるのが自己肯定感です。」また、「自己肯定感は周囲による影響を受け、高くもなれば低くもなる。自己肯定感は自分が自分であることに満足し、価値ある存在として受け入れられること、いわば人生の軸となるエネルギーです。」とありました。ですから、「自己肯定感が高ければ、物事を前向きに解釈できて気持ちが安定し積極的に行動できますが、自己肯定感が低ければ、ちょっとした出来事でも揺れ動き気分が沈みやすくなり行動は消極的になります。」ということです。確かに、何か言われたときに、その時の状態で同じ言葉でも気にしないでスルー出来たり、心に引っ掛かりイラついたりすることがあります。自己肯定感が高いままであれば、自分に対しても自信が持てて、多少のトラブルがあっても前向きに対応できるに違いありません。

話は変わりますが、１０月末に京王線刺傷事件があり、記憶にも新しいと思います。容疑者は「仕事や人間関係で失敗し、死にたかった。」と話していたようです。失敗から自分には価値がなく、社会の役にも立っていない…など、自己肯定感が極端に下がっていたことが予想されます。もしも、誰かが自己肯定感を高めてあげられたら、傷ついた心を支えてあげられていたら、この事件はなかったかもしれません。ちょうど、本を読んでいた時期でしたので、事件と重ねてそんなことを思ってしまいました。

中学校の時期は思春期で、特に自己肯定感が揺れ動く時期です。とにかく他人の目が気になります。自分の中に「私はこれでいいんだ」という確固たる自信がないので周囲に惑わされてストレスを感じてしまうのです。学校では、子どものことを把握し、様々な働きかけの中で自己肯定感を高めていきたいと考えています。そして、自信をもって学校生活を送ることができるように子どもたちを支えていきたいと思います。ご家庭でも、これまでと同様にお子様を励まし、自己肯定感が高まるように支えてあげてほしいと思います。

鬼っ子フォーラム　～みんなが通いたくなる学校づくりの取組発表～

１１月１日（月）に「鬼っ子フォーラム」が開催されました。市内小中学校と登別青嶺高校、登別明日中等教育学校の生徒代表が集まり、「みんなが通いたくなる学校づくり」についての取組を交流しました。本校からは、３年生の坂井慶信君と２年生の関川詩織さんが参加しました。坂井君はフォーラムの全体司会を担当し、立派に務めを果たしました。また、関川さんは登別中学校の生徒会の取組として「いじめ撲滅集会」と「あいさつ運動」について堂々と発表しました。フォーラムの最後には、鬼っ子宣言として、「一人一人の違いを受け入れます。」「一人ぼっちを作りません。」「お互いに支えあいます。」の３つを確認しました。後期には生徒会でも「みんなが通いたくなる学校」を目指し、頑張ってほしいと思います。

土曜授業（１年：職業講話　２年：認知症サポーター養成講座　３年：薬物乱用防止教室）

１０月２３日（土）に土曜授業が行われました。１年生は職業講話で地域の善大工業代表取締役の福富善大さんをお招きし、ものづくりについての話を聞きました。特に「全国製造業コマ大戦」で全国優勝した話には、生徒も興味津々でした。（大人も引き込まれます！）実際に大会で使われたコマも見せていただき、生徒も興奮気味でした。

２年生は認知症サポーター養成講座で、ご近所の「登別市地域包括支援センターあおい（愛桜）」から３名の方をお招きし、お話を聞きました。認知症についての症状やその支援など、あまり詳しく話を聞く機会がありませんので、大変勉強になったと思います。

３年生は薬物乱用防止教室で、本校の元 PTA 会長でもある辻弘之さんからお話を聞きました。飲酒や喫煙などの薬物の害についてわかりやすく教えていただきました。

（上）１年生　（下）２年生

３年生の保育実習（家庭科）in コロポックルの森　登別保育所

１０月２５日（月）と２７日（水）の２日間、「コロポックルの森　登別保育所」にて保育実習が行われました。幼児たちはお兄さんお姉さんに大興奮。自分の描いた絵を見せてくれたり、手を引っ張ったりと、生徒は幼児たちとたくさん関わることができました。保育所ですので年齢の幅もあり、関わり方も違いますが、生徒たちは一生懸命に実習を行い、幼児とのかかわり方や先生方の大変さなど、多くのことを学ぶことができました。生徒の中には、「私は子供が好きで、保育実習の場面で触れ合いができてうれしかったです。」「保育に興味がわきました。」「子どもたちから学んだことや今回の経験をどこかで役立てていきたいです。」などの感想があり、どの生徒も充実した時間を過ごせたことを感じました。今回受け入れをしていただきましたコロポックルの森の皆様にあらためて感謝いたします。

第２７回　吹奏楽部定期演奏会

１０月３１日（日）に吹奏楽部の定期演奏会が行われました。３部構成で、全部で１７曲を演奏しました。

１部は現吹奏楽部だけでの演奏です。日胆地区吹奏楽コンクールで金賞を獲得した「Fields Overture」を堂々と演奏しました。２部は吹奏楽部の希望もあり、吹奏楽部の演奏をバックに先生方が歌あり、ダンスあり、と体を張って共演しました。３部は OB と OG も参加し、迫力のサウンドを会場に届けることができました。生徒たちはコロナの関係で練習も満足にできない中、本当に頑張ったな…と実感します。今まで頑張ってきた３年生、お疲れ様でした…。

＜お知らせ＞　前期保護者・生徒学校評価結果をホームページ上で公開いたします。結果に対するコメントとともに、内容をご確認ください。

１日（水）	専門委員会　救急救命講習（２年）
２日（木）	救急救命講習（３年）
３日（金）	３年学力テスト（模試）
４日（土）	バドミントン胆振大会（伊達）
	テニス胆振大会団体（厚真）
６日（月）	三者懇談（～１０日）
８日（水）	あいさつ一声運動
１５日（水）	職員会議
１８日（土）	土曜授業④
	総合発表会　熊舞引継ぎ式
１９日（日）	吹奏楽 Brass in（13 時　室ガスＣ）
２３日（木）	終業式　３年学年末範囲提示
２７日（月）	ウインタースクール（～２８日）